



すべての人々の参加する世界という理想

令和6年2月5日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

弱者の切り捨ては、競争と生存における現実なのである。これらが資本主義と競争原理における現実の一つの真実である。

これらに対して世界は、すべての人々の生活と喜びという理想を抱くことができる。これらが、我々が求める、政治の責任と新たなコンセンサスである。

新しい世界という理想は、人々の喜びという新しい現実を提案するものである。これらはバリアフリーにおける社会の構築や、弱者への行政の援助を提案するものである。

世界における苦しみという現実はずっと存在するのである。自己能力の未熟さは、彼らにおいて生活の困難を与えるものである。

これらに対して政治が、新しい社会と生活を提案することは可能なのである。豊かさの占有から共有への転換は、新社会主義における新しい世界の創造を実現できるのである。

また新しい技術システムは、その新たな豊かさの創造を有するものである。これらは経済における独占や占有が、富という現実においてそれらを支配することは存在するのである。

これらは新資本主義という新しいシステムは、公正な富の分配とともに、経済の健全な新しいシステムを提案できるのである。

これらは唯一政治の全ての人々への責任という論点に集約する。競争という現実はその優位性への追従を世界とするものであり、それら進歩への疑問は否定されるものである。

これらは新しい哲学的な考察を経て、世界が新しく自己を求めることは可能なのである。弱者の苦しみとエリートたちの栄華という2つのコントラストは、格差という現実が支配する世界の現実なのである。

これらは新しい世界の創造への正しい考察であり、政治がその判断において新しい未来の創造を実現する正しい理解基盤なのである。

